

沖縄県バスケットボール協会U12部会

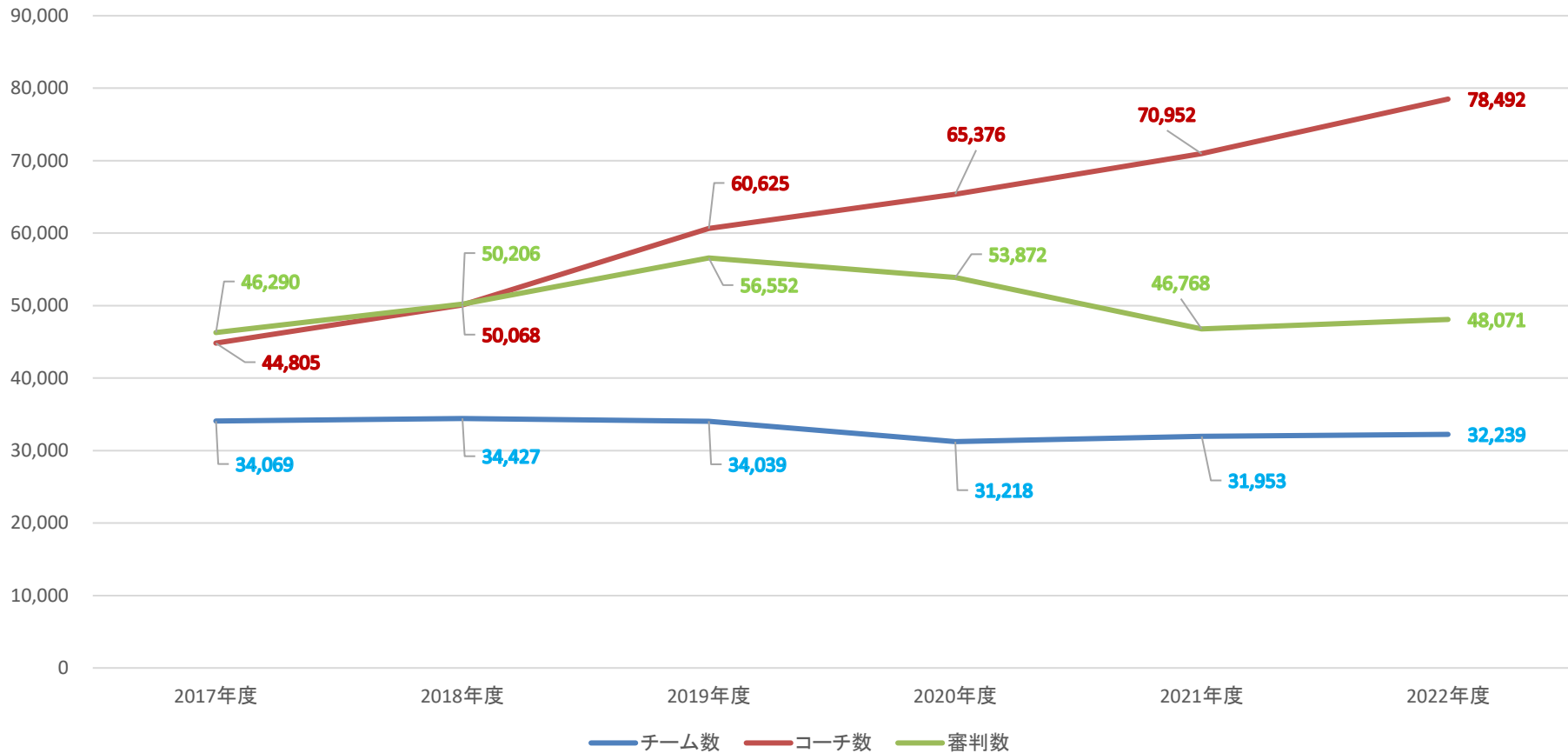
インテグリティ等
に関する研修会



2022年度登録状況概況

チーム数・コーチ数・審判数推移（2017～2022）

チーム数・コーチ数・審判数推移



① コーチ数、審判数は昨年比増加となった。

① チーム数は昨年比増加となった。

チーム数に対するコーチ数の割合

2021年度 上位10PBA

	コーチ			登録数
	チーム数に対する割合			
	順位	前年順位	%	
秋田	1	1	395.1%	1,845
青森	2	2	392.3%	2,083
熊本	3	5	314.5%	1,711
福島	4	4	304.9%	1,948
山形	5	6	297.9%	1,290
島根	6	3	294.3%	724
埼玉	7	8	288.2%	3,919
沖縄	8	9	285.4%	2,018
東京	9	7	281.1%	4,245
栃木	10	11	268.2%	1,486

2022年度 上位10PBA

	コーチ				登録数
	チーム数に対する割合				
	順位	前年順位	%		
秋田	1	1	434.5%	2,003	
青森	2	2	428.1%	2,209	
熊本	3	3	332.7%	1,823	
埼玉	4	7	327.2%	4,306	
島根	5	6	324.3%	814	
沖縄	6	8	318.9%	2,312	
福島	7	4	317.6%	2,042	
山形	8	5	317.5%	1,381	
東京	9	9	299.2%	4,733	
千葉	10	11	289.6%	4,691	

i 多少の順位の入替えはあるもののトップ9は変わらず。9 PBAが前年度と同じ。また、東日本が7PBA。

i 下位10位全て前年度と同じPBA。

2021年度 下位10PBA

	コーチ			登録数
	チーム数に対する割合			
	順位	前年順位	%	
岡山	38	40	166.9%	781
群馬	39	41	161.9%	1,054
広島	40	32	161.2%	1,067
佐賀	41	42	155.4%	429
香川	42	44	152.1%	435
大阪	43	43	150.7%	2,636
三重	44	45	130.8%	692
高知	45	39	130.7%	370
徳島	46	46	127.2%	360
和歌山	47	47	108.4%	272

2022年度 下位10PBA

	コーチ				登録数
	チーム数に対する割合				
	順位	前年順位	%		
岡山	38	38	189.2%	859	
佐賀	39	41	182.4%	496	
群馬	40	39	181.6%	1,171	
広島	41	40	177.3%	1,181	
大阪	42	43	172.0%	3,005	
香川	43	42	166.0%	478	
三重	44	44	150.7%	791	
高知	45	45	141.7%	401	
徳島	46	46	138.9%	389	
和歌山	47	47	114.1%	291	

i 全ての都道府県でチーム数に対する割合が100%を超えている。

2022年度 都道府県別U12カテゴリー登録数（前年度対比）

※2023年3月1日現在

ブロック	No.	都道府県	チーム加盟数										競技者数										
			2022年度（最終）			2021年度（最終）			前年比			登録率	2022年度（最終）			2021年度（最終）			前年比			登録率	
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計		
北海道	1	北海道	200	200	400	202	203	405	-2	-3	-5	98.8%	3,710	3,035	6,745	3,481	2,919	6,400	229	116	345	105.4%	
東北	2	青森	97	114	211	95	120	215	2	-6	-4	98.1%	1,735	1,920	3,655	1,687	2,132	3,819	48	-212	-164	95.7%	
	3	岩手	84	88	172	86	88	174	-2	0	-2	98.9%	1,343	1,208	2,551	1,358	1,255	2,613	-15	-47	-62	97.6%	
	4	宮城	99	97	196	97	90	187	2	7	9	104.8%	1,548	1,166	2,714	1,427	1,098	2,525	121	68	189	107.5%	
	5	秋田	85	118	203	91	121	212	-6	-3	-9	95.8%	1,422	1,654	3,076	1,452	1,776	3,228	-30	-122	-152	95.3%	
	6	山形	84	89	173	85	91	176	-1	-2	-3	98.3%	1,384	1,187	2,571	1,352	1,285	2,637	32	-98	-66	97.5%	
	7	福島	100	105	205	99	109	208	1	-4	-3	98.6%	1,765	1,445	3,210	1,657	1,521	3,178	108	-76	32	101.0%	
関東	8	茨城	116	154	270	117	159	276	-1	-5	-6	97.8%	2,039	2,512	4,551	1,920	2,603	4,523	119	-91	28	100.6%	
	9	栃木	81	90	171	83	95	178	-2	-5	-7	96.1%	1,401	1,400	2,801	1,359	1,460	2,819	42	-60	-18	99.4%	
	10	群馬	85	85	170	87	84	171	-2	1	-1	99.4%	1,500	1,147	2,647	1,420	1,190	2,610	80	-43	37	101.4%	
	11	埼玉	219	247	466	217	251	468	2	-4	-2	99.6%	5,451	4,805	10,256	5,184	4,768	9,952	267	37	304	103.1%	
	12	千葉	206	289	495	205	299	504	1	-10	-9	98.2%	4,517	5,335	9,852	4,299	5,350	9,649	218	-15	203	102.1%	
	13	東京	153	142	295	152	138	290	1	4	5	101.7%	4,057	2,642	6,699	3,552	2,329	5,881	505	313	818	113.9%	
	14	神奈川	264	272	536	255	262	517	9	10	19	103.7%	5,967	4,043	10,010	5,364	3,830	9,194	603	213	816	108.9%	
北信越	15	山梨	42	49	91	43	50	93	-1	-1	-2	97.8%	761	797	1,558	759	792	1,551	2	5	7	100.5%	
	16	長野	68	71	139	70	72	142	-2	-1	-3	97.9%	1,771	1,332	3,103	1,858	1,383	3,241	-87	-51	-138	95.7%	
	17	新潟	135	120	255	135	125	260	0	-5	-5	98.1%	2,618	2,039	4,657	2,610	2,060	4,670	8	-21	-13	99.7%	
	18	富山	43	40	83	42	40	82	1	0	1	101.2%	907	677	1,584	856	685	1,541	51	-8	43	102.8%	
	19	石川	51	51	102	52	52	104	-1	-1	-2	98.1%	1,026	886	1,912	1,020	880	1,900	6	6	12	100.6%	
	20	福井	30	32	62	34	33	67	-4	-1	-5	92.5%	688	499	1,187	748	495	1,243	-60	4	-56	95.5%	
	21	岐阜	29	25	54	28	26	54	1	-1	0	100.0%	752	508	1,260	717	483	1,200	35	25	60	105.0%	
東海	22	静岡	105	116	221	105	119	224	0	-3	-3	98.7%	2,209	2,100	4,309	2,176	2,195	4,371	33	-95	-62	98.6%	
	23	愛知	59	61	120	55	58	113	4	3	7	106.2%	1,303	1,022	2,325	1,247	1,049	2,296	56	-27	29	101.3%	
	24	三重	63	61	124	65	65	130	-2	-4	-6	95.4%	1,107	847	1,954	1,118	962	2,080	-11	-115	-126	93.9%	
近畿	25	滋賀	44	39	83	43	39	82	1	0	1	101.2%	836	627	1,463	830	580	1,410	6	47	53	103.8%	
	26	京都	52	48	100	53	50	103	-1	-2	-3	97.1%	1,119	657	1,776	1,139	682	1,821	-20	-25	-45	97.5%	
	27	大阪	168	139	307	165	135	300	3	4	7	102.3%	3,233	2,137	5,370	2,851	1,953	4,804	382	184	566	111.8%	
	28	兵庫	113	99	212	114	103	217	-1	-4	-5	97.7%	2,414	1,740	4,154	2,150	1,724	3,874	264	16	280	107.2%	
	29	奈良	34	28	62	35	28	63	-1	0	-1	98.4%	871	585	1,456	862	577	1,439	9	8	17	101.2%	
	30	和歌山	17	19	36	17	17	34	0	2	2	105.9%	351	334	685	351	340	691	0	-6	-6	99.1%	
中国	31	鳥取	50	43	93	51	43	94	-1	0	-1	98.9%	890	735	1,625	867	753	1,620	23	-18	5	100.3%	
	32	島根	49	44	93	47	46	93	2	-2	0	100.0%	1,100	947	2,047	1,043	942	1,985	57	5	62	103.1%	
	33	岡山	52	51	103	50	53	103	2	-2	0	100.0%	1,229	820	2,049	1,051	771	1,822	178	49	227	112.5%	
	34	広島	72	75	147	72	76	148	0	-1	-1	99.3%	1,391	1,238	2,629	1,323	1,195	2,518	68	43	111	104.4%	
	35	山口	60	77	137	60	80	140	0	-3	-3	97.9%	1,170	1,415	2,585	1,172	1,449	2,621	-2	-34	-36	98.6%	
四国	36	徳島	37	34	71	37	34	71	0	0	0	100.0%	603	466	1,069	647	454	1,101	-44	12	-32	97.1%	
	37	香川	29	27	56	29	27	56	0	0	0	100.0%	619	437	1,056	653	470	1,123	-34	-33	-67	94.0%	
	38	愛媛	47	73	120	45	74	119	2	-1	1	100.8%	776	1,089	1,865	779	1,098	1,877	-3	-9	-12	99.4%	
	39	高知	25	20	45	24	21	45	1	-1	0	100.0%	454	339	793	397	313	710	57	26	83	111.7%	
九州	40	福岡	195	179	374	188	170	358	7	9	16	104.5%	3,394	2,602	5,996	3,092	2,394	5,486	302	208	510	109.3%	
	41	佐賀	34	29	63	34	30	64	0	-1	-1	98.4%	557	436	993	528	431	959	29	5	34	103.5%	
	42	長崎	95	98	193	97	100	197	-2	-2	-4	98.0%	1,496	1,465	2,961	1,489	1,511	3,000	7	-46	-39	98.7%	
	43	熊本	77	92	169	72	93	165	5	-1	4	102.4%	1,409	1,517	2,926	1,304	1,526	2,830	105	-9	96	103.4%	
	44	大分	46	45	91	46	46	92	0	-1	-1	98.9%	787	606	1,393	783	622	1,405	4	-16	-12	99.1%	
	45	宮崎	56	43	99	58	45	103	-2	-2	-4	96.1%	908	632	1,540	862	637	1,499	46	-5	41	102.7%	
	46	鹿児島	71	67	138	73	65	138	-2	2	0	100.0%	1,237	936	2,173	1,233	941	2,174	4	-5	-1	100.0%	
	47	沖縄	171	173	344	168	172	340	3	1	4	101.2%	4,039	3,592	7,631	3,453	3,283	6,736	586	309	895	113.3%	
合計			4,092	4,258	8,350	4,078	4,297	8,375	14	-39	-25	99.7%	81,864	69,558	151,422	77,480	69,146	146,626	4,384	412	4,796	103.3%	

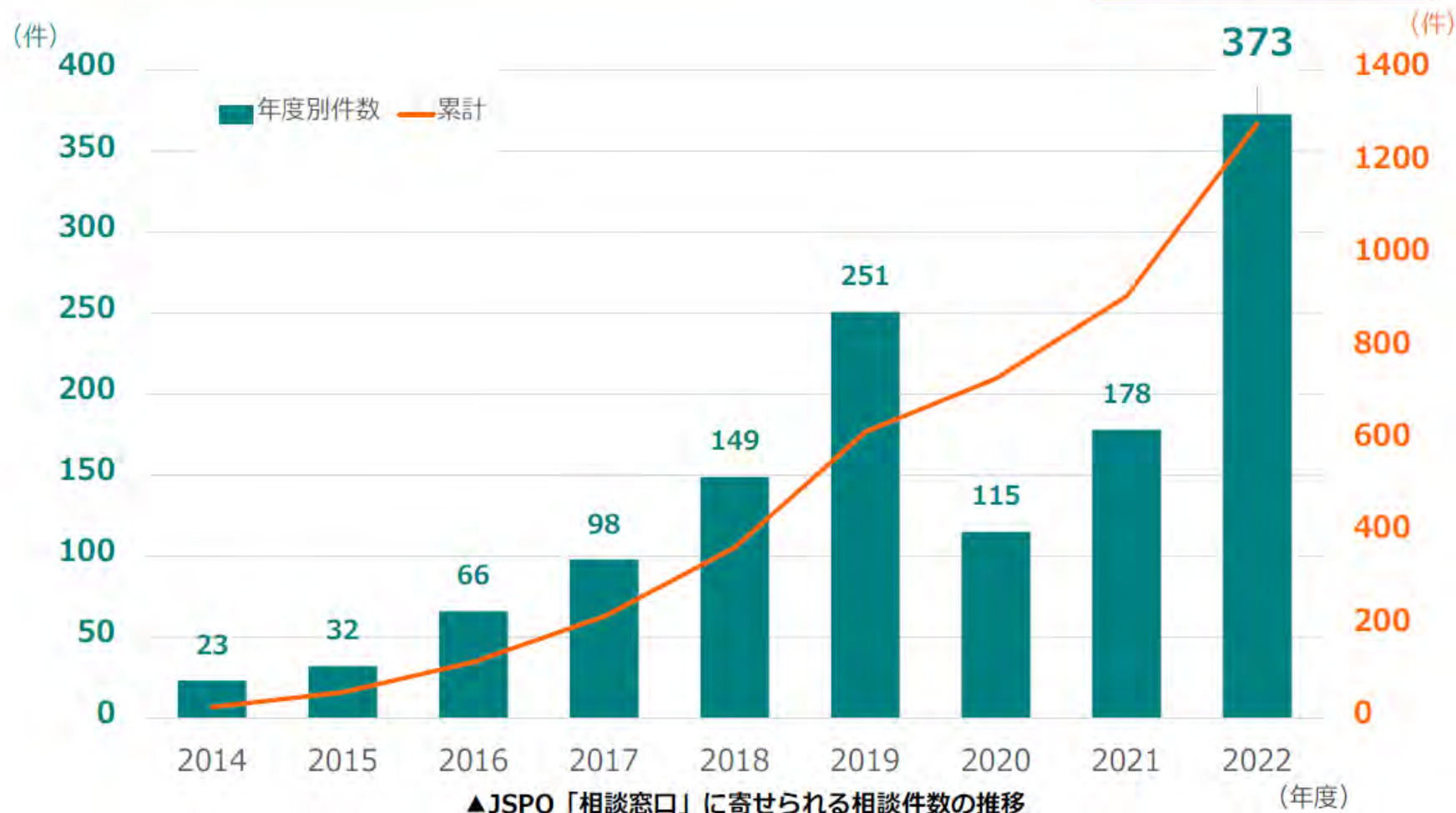
なぜ今、
インテグリティの
研修会なのか？

大弦小弦

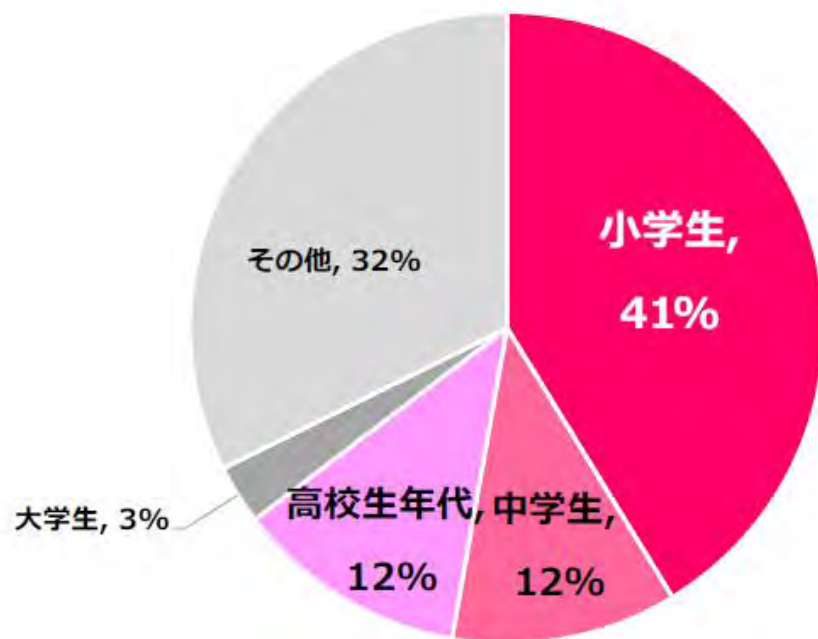
小中高生のスポーツの現場でさまざまな指導者を見てきた。好機に三振した選手を笑顔で迎えた学童野球の監督もいれば、負けたのは選手のせいとばかりに責める人も▼外から見えるのは一部分。普段の練習は「密室」になりがちだ。コーチのパワハラに耐えかねて競技をやめた例を後から知ることもあった▼「暴力行為は人間の尊厳を否定する」としてスポーツ団体が根絶を宣言してから、きょうで10年。契機になった大阪・桜宮高バスケットボール部の事件は、顧問が自死した主将に執拗な体罰をしていたことに衝撃が広がった▼根絶への歩みは道半ばだ。日本スポーツ協会が昨年度受けた相談は過去最多の373件。被害の6割超は小中高生だった。「暴力は駄目」との認識が広がり告発しやすくなった点を考慮しても、10年たつてこの数字に根深さを感じる▼県教育委員会の部活動調査では、専門の指導者に義務付けられた校外研修を6割が受けていないと答えた。調査は、2年前にコザ高の運動部主将が顧問の日常的な叱責などを苦に命を絶った問題を機に始まった。再発防止の意識が薄れていないか▼子どもを指導するのは難しい。だから教える側は学び続け、周りには不適切な指導に声を上げる必要がある。スポーツは本来楽しいもの。部活は子どもたちのものだから。(大門雅子)

「NO！スポハラ」活動実施の背景

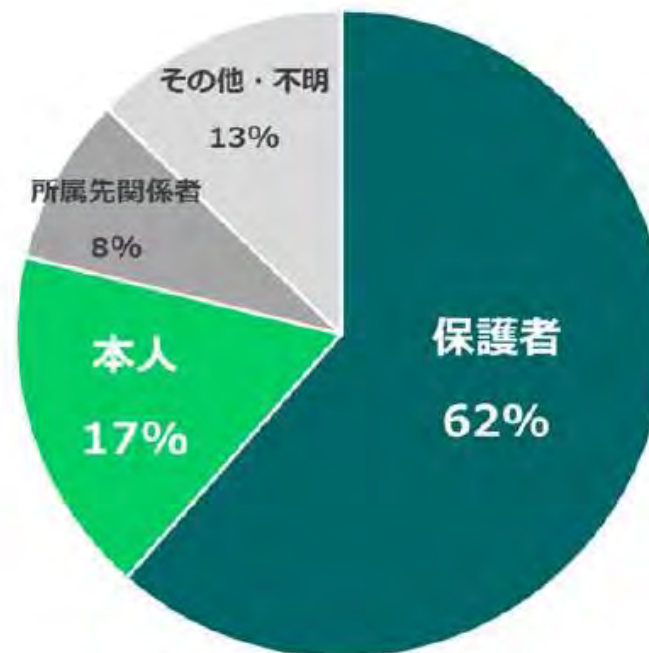
過去最多
昨年度比約2倍 (2.09)



「NO！スポハラ」活動実施の背景



▲被害者内訳



▲相談者（通報者）内訳

「NO! スポハラ」啓発

スポーツ界「暴力行為根絶宣言」10年

保護者向けにも力

スポーツ界の「暴力行為根絶宣言」が採択されてから10年を迎えた25日、日本スポーツ協会は東京都内で記者会見を開き、暴力や暴言などの撲滅を目指して「NO! スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」活動を開始すると発表した。日本スポ協の他、日本オリンピック委員会（JOC）、全国高校体育連盟など6団体が連携。来年3月末までを取り組みの集中期間とし、指導者だけでなく、子どもを守る立場にある保護者向けの啓発活動に力を入れる。

シンポジウムの開催や交流サイト（SNS）を使ったキャンペーンなどを予定しているという。

暴力やパワハラ問題で、日本スポ協の窓口への相談件数が2022年度は過去最多の373件だった。最近も学校部活動での暴力指導が明るみに出るなど、不適切行為の根絶に程遠い状況が続いている。森岡裕策専務理事は「今度こそ、なくしていくんだという1年にする。誰もが安全、安心にスポーツを楽しめる社会をつくるのがミッション」と決意を述べた。

日本スポ協が2月に一般の3千人を対象に行った調査では「競技力が向上するならば指導者、コーチによる不適切な行為はあってもよい」という考え



「NO! スポハラ」活動について説明する日本スポーツ協会の森岡裕策専務理事＝25日午前、東京都新宿区

方に「近い」「どちらかといえば近い」と答えた人が約1割いた。森岡専務理事は「この割合をゼロにするのが目の前の目標」と語った。



B.LEAGUE



J B A インテグリティ委員会

(概要資料)

インテグリティとは

誠実さ、真摯さ、高潔さ